

科目名	教育相談【健栄・社福】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	吉 村 春 生						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	今日の多様化、複雑化した心の問題に対して、現場の教師がどのように理解し対応していくのがよいのか、また、心の問題の発生を予防する学校環境とはどのようなものなのかを明らかにすることは教育的課題である。そこで、本講座では、幼児・児童・生徒の心の発達と危機の理解や、学校現場で生じやすいさまざまな問題の特徴を紹介することを通して、学校現場で教師が果たす教育相談的役割や機能について考えを深めたい。						
授 業 の 到達目標	1. 教育相談の目的と意義、教師が果たす役割について説明できる。 2. 乳幼児期・児童期・青年期の心の発達と危機について説明できる。 3. 学校ストレスと適応について理解できる。 4. 心の問題の種類と対応について理解できる。 5. カウンセリングの基本的な視点を取り入れた教育相談を考案できる。						
学習方法	講義・演習（講義・演習後に小レポートなどで学習の確認を行う）						
テキスト及び参考書等	テキスト：特には指定せず、随時プリントを配布する。 参考書：「教師のための学校カウンセリング」小林正幸、橋本創一、松尾直博（編）、有斐閣アルマ 「ライフサイクルの臨床心理学」馬場禮子、永井徹共著、培風館						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	○	○	○	○			80
宿題・授業外レポート							
授業態度			○				5
受講者の発表							
授業への参加度			○				10
その他				○			5
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	ガイダンス(授業の進め方、成績評価の方法と基準についての説明)[演習Ⅰ・自己開示]						
第 2 週	教育相談の目的と意義						
第 3 週	教育相談の組織と連携						
第 4 週	教育相談に生かすカウンセリング①(学習・行動理論)						
第 5 週	教育相談に生かすカウンセリング②(精神分析理論・成長理論)						
第 6 週	乳幼児期の心の発達と危機						
第 7 週	児童期・青年期の心の発達と危機						
第 8 週	学校ストレスと適応 [演習Ⅱ. ストレス反応テスト]						
第 9 週	心の問題の種類と対応 [演習Ⅱ. スクリーニングテスト]						
第 10 週	発達障害児の理解と援助						
第 11 週	教育相談の実際①（不登校の経過と段階に応じた支援）						
第 12 週	教育相談の実際②（いじめの問題や反社会的行動の理解と支援）						
第 13 週	教育相談の実際③（描画を用いた心の健康づくり）[演習Ⅳ. 描画法]						
第 14 週	教育相談の実際④（遊戯を用いた心の健康づくり）[演習Ⅴ. お気に入り活動]						
第 15 週	教育相談体制づくり(予防的な支援と適応支援におけるネットワークの構築)						
第 16 週							
備 考	演習Ⅳについては、A4版の大きさの画用紙(1枚)と新聞紙(2～3枚)、クレヨンかクレパスを準備 演習Ⅴについては、“お気に入り”のアイテム等を準備						